

公社の施業体系図（ヒノキ）

樹高 (m)

立木密度  
(本/ha)

3,000  
2,800本/ha

2,100

1,400

910

590

385

250

175

見込林齢	1	5	10	13	19	35	42	47	49	57	65	70
施業種			除伐	保育間伐		利用間伐①	利用間伐②	皆伐	択伐①	択伐②	択伐③	
樹高	m (ヒノキ 2級地)			6.8	9.1	14.6	16.6		18.5	20.5	22.4	23.5
胸高直径	cm (ヒノキ 2級地)			9.6	12.5	19.5	22.6		25.7	28.6	31.5	32.7
成立本数	本/ha			2,800	2,100	1,400	910		590	385	250	175
伐採本数	本/ha			700	700	490	320		205	135	75	
残存本数	本/ha			2,100	1,400	910	590		385	250	175	
伐採率	%			25	33	35	35		35	35	30	

施業種	林齢	成立本数	残存本数	伐採率	施業内容
除伐	13年生	2,800本/ha	2,100本/ha	25.0%	生育を阻害する不用木及び植栽した不良木を除去する。
保育間伐	19年生	2,100本/ha	1,400本/ha	33.0%	形質不良木を中心に切捨間伐を実施する。
利用間伐第1回	35年生	1,400本/ha	910本/ha	35.0%	収益が見込まれる場所は基本として4列残し2列伐採する列状間伐を実施する。(収穫事業) それ以外は、形質不良木を中心に切捨間伐を実施する。
利用間伐第2回	42年生	910本/ha	590本/ha	35.0%	利用間伐が初回の場合は基本として列状間伐を実施し、2回目の場合は残存列の間隔を調整する抜き切りを実施する。(収穫事業)
択伐第1回	49年生	590本/ha	385本/ha	35.0%	収益性等を考慮し、残存木の間隔を確保する抜き切りを実施する。(収穫事業)
択伐第2回	57年生	385本/ha	250本/ha	35.0%	収益性等を考慮し、残存木の間隔を確保する抜き切りを実施する。(収穫事業)
択伐第3回	65年生	250本/ha	175本/ha	30.0%	最終目標である間隔に調整する抜き切り(収穫事業)で、残った175本/haは70年生の針広混交林で所有者に返還する。